

マリー・ローランサン

とモード



Marie Laurencin
1922

1920年代
パリ

輝いた女性たち

ココ・シャネル、

ジャンヌ・ランバン

Marie

LAURENCIN

et la mode

2023 6.24 (土) ▶ 9.3 (日)

名古屋市美術館

開館時間 | 午前9時30分～午後5時、8月11日を除く金曜日は午後8時まで(いずれも入場は閉館の30分前まで)

休館日 | 月曜日(7月17日、8月14日は開館)、7月18日(火)

主催 | 名古屋市教育委員会・名古屋市美術館、中京テレビ放送 協力 | ヤマト運輸、名古屋市交通局

後援 | 在日フランス大使館 / アンスティチュ・フランセ日本、名古屋市立小中学校PTA協議会 企画協力 | 美術デザイン研究所



マリー・ローランサン《ニコル・グルーと二人の娘、プロワットとマリオン》1922年
油彩 / キャンヴァス マリー・ローランサン美術館 © Musée Marie Laurencin

NAGOYA CITY ART MUSEUM



マリー・ローランサン

パリ生まれ。ピカソやブラックとの交流から、初期にはキュビズムの影響が色濃い作風であったが、後にパステル調の淡い色調と優美なフォルムが特徴の作風に。絵画制作のみならず、舞台美術や室内装飾、本の挿絵も手がけた。

セシル・ビートン
《お気に入りのドレスでポーズをとるローランサン》1928年頃
マリー・ローランサン美術館 © Musée Marie Laurencin



マリー・ローランサン
《マドモアゼル・シャネルの肖像》
1923年 油彩 / キャンヴァス パリ、オランジュリー美術館
Photo © RMN-Grand Palais (musée de l'Orangerie) / Hervé Lewandowski / distributed by AMF



マリー・ローランサン
《ピンクのコートを着たグールゴ男爵夫人の肖像》
1923年頃 油彩 / キャンヴァス パリ、ボンピドゥー・センター
Photo © Centre Pompidou, MNAM-CCI, Dist. RMN-Grand Palais / image Centre Pompidou, MNAM-CCI / distributed by AMF

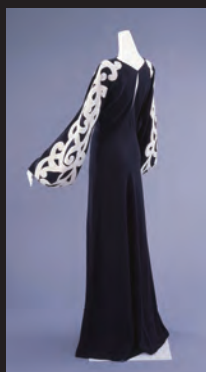
マリー・ローランサン
《梅と花》(部分) 1935年頃
油彩 / キャンヴァス(タペストリーの下絵)
マリー・ローランサン美術館
© Musée Marie Laurencin

マリー・ローランサン

—1920年代パリ、アートとファッションの交差

ふたつの世界大戦に挟まれた1920年代のパリ。それは様々な才能がジャンルを超えて交錯し、類まれな果実を生み出した、奇跡のような空間でした。ともに1883年に生まれたマリー・ローランサンとガブリエル(ココ)・シャネルの二人は、その自由な時代を生きる女性たちの代表ともいえる存在です。パステルカラーの優美な女性像で人気を博したローランサンと、男性服の素材やスポーツウェアを女性服に取り入れたシャネル。本展では二人の活躍を軸に、ポール・ポワレ、ジャン・コクトー、マン・レイ、ジャンヌ・ランバンなど、時代を彩った人々との関係にも触れながら、美術とファッションがそれぞれの境界を越えてダイナミックに展開していく様子を辿ります。オランジュリー美術館やボンピドゥー・センター、マリー・ローランサン美術館など国内外のコレクションから、約90点の出品作品でご紹介します。

を再発見する



ジャンヌ・ランバン
《ドレス》1936年
島根県立石見美術館



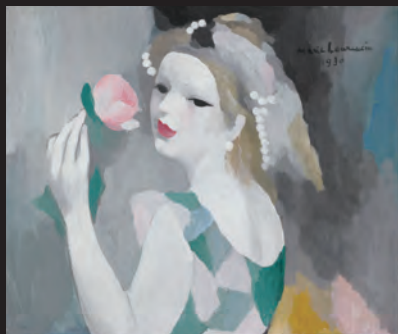
ガブリエル・シャネル
《デイトドレス》1927年頃
神戸ファッション美術館



ガブリエル・シャネル
《帽子》1910年代
神戸ファッション美術館



マン・レイ
《ココ・シャネルの肖像》1935年頃
Photo © Museo Nacional Centro de Arte Reina Sofia



マリー・ローランサン《ほらの女》1930年 油彩 / キャンヴァス
マリー・ローランサン美術館 © Musée Marie Laurencin



カール・ラガーフェルド、シャネル
ピンクのツイードのスリーピース・スーツ、
刺繍が施された襟元とベルト
2011年春夏 オートクチュール コレクションより
2011年 ハリ、パトリモニア・シャネル
© CHANEL

1883-1971 Coco Chanel

観覧料	当日	前売・団体
一般	1,800円	1,600円
高大生	1,000円	800円
中学生以下	無料	

※団体割引料金は20名以上に適用

◎前売券・当日券は、電子チケット「アンビュー」、ローソンチケット[Lコード43419]、セブンチケット、チケットぴあ[Pコード686-428]、主なコンビニエンスストアなどでお求めいただけます。(前売券の販売は4月1日[土]~6月23日[金]) ◎障害のある方、難病患者の方は、手帳または受給者証(マイロID可)の提示により本人と付添者2名まで、当日料金の半額でご覧いただけます。◎高大生チケットあるいは障害者チケットを購入された方と中学生は、当日美術館の受付で証明となるもの(学生証、障害者手帳など)をご提示ください。◎名古屋市交通局発行の「ドニエコきっぷ」「一日乗車券」を当日利用して来館された方は当日料金から100円割引。◎「名古屋市美術館常設展定期観覧券」の提示で当日料金から200円割引。◎いずれも他の割引との併用はできません。◎会期中、本展の観覧券で名古屋市美術館の常設展もご覧いただけます。



ご来場は公共交通機関をご利用ください。
地下鉄東山線・鶴舞線「伏見」下車、5番出口から南へ徒歩8分
地下鉄鶴舞線「大須観音」下車、2番出口から北へ徒歩7分
地下鉄名城線「矢場町」下車、4番出口から西へ徒歩10分

名古屋市美術館
Nagoya City Art Museum [芸術と科学の杜・白川公園内]

〒460-0008 名古屋市中区栄二丁目17番25号
TEL 052-212-0001 FAX 052-212-0005
https://art-museum.city.nagoya.jp/



展覧会公式サイト

Twitter Instagram Facebook YouTube ▶ laurencinnagoya

【ご来館のみなさまへ】

●新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、本展の会期や内容に変更が生じる可能性があります。最新情報は展覧会公式サイトでご確認ください。基本的な感染防止対策にご協力ください。●会場の混雑状況によっては、入場を制限する場合がありますので、あらかじめご了承ください。